

第七十回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)
地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十二年三月十八日(木曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清瀬規矩雄君

理事植村嘉三郎君 理事本田 英作君

堀内 良平君 行吉 角治君

淺川 浩君 尾崎 天風君

松尾 四郎君 田子 一民君

片山 一男君 岡崎 憲君

奥山 龜藏君 岡 幸三郎君

天辰 正守君 林 路一君

石川 定辰君 大本貞太郎君

三月十二日委員東條貞君辭任ニ付其ノ補闕トシテ南條德男君ヲ議長ニ於テ選定セリ

三月十三日委員大石倫治君及林讓治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ石川定辰君及大本貞太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十六日委員南條德男君辭任ニ付其ノ補闕トシテ尾崎天風君ヲ議長ニ於テ選定セリ
同月十八日委員春名成章君辭任ニ付其ノ補闕トシテ林路一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

三月十六日地方鐵道補助法中改正法律案

(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 伍堂 卓雄君
兼鐵道大臣

出席政府委員左ノ如シ

鐵道省監督局長 前田 穰君

鐵道省建設局長 河原 直文君

鐵道省工務局長 山田 隆二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

○清瀬委員長 ソレデハ只今カラ開會致シマス、此敷設法ハ一應質問ヲ打切ッテ居ル

譯デアリマスケレドモ、極ク簡單ニ質問致シタイト云フコトデアリマスカラ許シマス
——淺川君

○淺川委員 此間他ノ委員會デ缺席ラシテ居リマシタガ、建設ノ方面デ一寸御伺申上ダタイト思ヒマス、北海道ノ上川、帶廣線デアリマス、或ハ他ノ場合ニドナタカ御聽キシタカモ知レマセヌガ、國立公園ニ指定セラレタ層雲峽ヲ通過スル線デアリマス、全線ニ互ル未成ノ部分ヲ速ニ建設シテ戴キ

タイト云フコトヲ、旭川商工會議所其他沿線ノ地方カラ澤山陳情ヲ致シテ、本省ニモ

參ッテ居ルト思ヒマスガ、セメテハ國立公園ノ觀光ノ足場ト致シテ、極ク已ムヲ得ズンバ、現在ノ上川驛カラ分岐シテ層雲峽

ノ入口ニ至ル迄ノ間デモ速成ヲシテ戴キタ

イト云フ希望ヲ以テマシテ、國立公園ノ方

ノ意向ヲ先般尋ネマシタ所ガ、御省ノ方カ

ラ計畫ガ出テ參リ次第御相談スルカラト云

フコトデアリマスガ、御省ノ本線ニ對スル

豫定ヲ一ツ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス、

ソレカラ北見ノ興濱線デスカ、枝幸邊カラ

今ノ宗谷線ノ美深驛ニ向ッテ斜線ヲ彼處ニ

入レテ貫ヒタイト云フコトデアリマス、是

ハ折々御調べ下サツタサウデスガ、非常ニ經

濟力ガアルト云フコトデアリマス、アノ線

ノ計畫ヲ御伺致シマス、ソレカラ秋田岩手

兩縣ニ跨ル橫莊線ハ、御省ニ於テモ別ニ案

ヲ御出シニナルヤウデアリマスガ、釜石、

本莊間ヲ直線ニナルヤウニ御計畫ヲ願ヒタ

イト云フ陳情書ガ澤山出テ來テ、建議案モ

出テ居リマス、其建議案ノ節ニ御伺スルコ

トガ順序カモ知レマセヌガ、此場合ニ併セ

テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○河原政府委員 私ヨリ御答致シマス、上川カラ三股ニ參リマス間ガ豫定線ニナッテ居

リマスガ、其前ニ先以テ國立公園ノ層雲峽マ

デ、第一期トシマシテ當局トシテハ調査ヲ致

シテ、一定ノ計畫ガ立ッテ居リマス、豫

算ノ都合上マダ著手ニ至ラナイノデアリマ

スルガ、道廳トシテモ大變希望シテ居ル次

第モアリマスカラ、成タケ早イ機會ニ上川

層雲峽間ノ工事ニ著手スルヤウニナルダ

ラウト思ッテ居リマス、ソレカラ枝幸カラ美

深ニ參リマスモノハ、豫定線デハアリマセ

ヌガ、數年前カラ北海道ノ各代議士諸君カ

ラ種々御説明ガアリ、御陳情ガアリマシテ、

當局トシテハ十分研究ガ付イテ居リマス

ガ、其内ニ計畫ガ出來次第、豫算ノ都合ヲ

考慮致シマシテ著手致シタイト存ジテ居リ

マス、ソレカラ東北ノ本莊カラ釜石マデ、

日本海ト太平洋トヲ結ブ一直線ノ線ヲ作ル

コトハ考ヘナイカト云フ御話デゴザイマス

ガ、ソレニ付キマシテハ、本莊カラ横手ニ

横莊鐵道ト云フ私設鐵道ガアリマスガ、此

線ニ付テモ買収トカ、或ハ未成線ヲ鐵道省

デ敷設シテ吳レト云フヤウナ、陳情建議ガ澤山出テ居リマシテ、本年ハ其點ニ付テ研究シタイト存ジテ居リマス、ソレカラ其一部ト致シマシテ、黑澤尻カラ花巻、釜石間ヲ、途中ヲ結ンデ、一直線ノ短絡線ニスルト云フ計畫ニ付テモ、昨年アタリカラ陳情ガ出テ參リマシテ、本年ハ此點モ十分ニ研究シテ、太平洋ト日本海トノ連絡ノ最短距離ヲ計畫スル調査ヲ進メタイト思ヒテ居リマス

○清瀬委員長 大本君

○大本委員 私ハ愛媛縣ノ省營自動車ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、大洲近水線、及ビ小松横河原線、坂石宇和町線、此三ツノ省營自動車ハ、本年度ニ於テ開業サレル管デアッタノデアリマスガ、未ダ一向開通サレヌヤウデアリマスガ、ドウ云フコトニナッテ居リマスカ

○前田政府委員 只今御尋ノ愛媛縣ニ於ケル、省營「バス」ニ於ケル三ツノ線ハ、只今マダ愛媛縣ト交渉ガ付イテ居リマセヌ、大洲魚成橋ノ方ハ、大體ノ内容ハ略、協定ガ付イテ居ルヤウデアリマスガ、マダ正式ノ決定マデニ至ッテ居リマセヌ、成ベク縣トノ交渉ヲ速ニ進捗シマシテ、實施ニ移リタイト考ヘテ居リマス

○大本委員 小松横河原線、及ビ坂石宇和

町線ハ、サウスルトマダ縣トノ交渉ガ出来テ居ラヌノデゴザイマスカ

○前田政府委員 其通りデゴザイマス、マダ縣ト交渉ガ出来テ居リマセヌ

○大本委員 サウスルト何時頃迄ニ縣トノ御交渉ガ調フ御見込デスカ

○前田政府委員 大體今年ノ秋頃迄ニハ交渉ガ調フ積リデ居リマスガ、成ベク速ニ交渉ヲ進メルヤウナ手配ヲ執リタイト考ヘマス

○大本委員 内子、小田町線ハ來年度ニ於テヤラレルコトニナッテ居リマスガ、是ハ近ク縣トノ交渉ヲ御始メニナル御考デゴザイマスカ

○前田政府委員 内子小田町線ハ十二年度ニ著手ヲシタイト考ヘマシテ、其心組デ縣トノ交渉ヲ開始シタイト考ヘテ居リマス

○大本委員 内子小田町線ハ續イテ内子大洲間、及ビ小田町落合間へ延長サレルヤウニ聞イテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ内子大洲線ノ開通後、續イテオヤリニナル御考ガゴザイマスカドウカ

○前田政府委員 内子カラ落合ノ方へハ、サウ云フ風ナ調査モ致シタコトハアリマスルガ、マダ何トモ考ヲ決メテ居リマセヌ、ソレカラ内子カラ大洲ノ方ニ向ヒマシテハ、出來レバ繋ギタイ、斯様ニ考ヘテ居ル

次デゴザイマス

○大本委員 省營自動車ニ付テハ、民業壓迫トカ色々事柄デ、大分反對ガアルヤウデアリマスガ、私共ノ愛媛縣ニ限ッテハ、省營自動車ハ相當ニ評判ガ好イノデアリマス、料金モ民營時代ヨリハ半額以下ニ下リ、車ノ運轉回數モ非常ニ多クナリマシテ、地方ノ者ハ非常ニ省營自動車ニ付テハ喜ンデ居ルノデアリマス、左様ナ譯デ、外ニモ段々希望シテ居ルモノガアルノデアリマシテ、只今問題ニナッテ居リマスルノガ、内子カラ中山町ヲ經テ群中へ行ク線、小田町カラ砥部町ヲ經テ供養堂へ行ク線、是ナドハ沿道ノ者ガ非常ニ希望ヲシテ、省營「バス」ノ開通ヲ翹望シテ居ルノデアリマスルガ、是等ニ付テ至急御調査ヲ願ッタイト思フノデアリマスルガ、御考ハドウデゴザイマスカ

○前田政府委員 只今御示シノヤウナ路線ニ付テ、從來何モ考ヘタコトハアリマセヌガ、今年ノ五月頃カラ、少シク手廣ク路線ノ調査ヲ致シテ見タイト考ヘテ居リマス、其際ニ只今御示シノヤウナ路線ヲ一ツ考ヘマシテ、調査ヲ致スカ、致サナイカ、此處デハッキリ御答ヲ申上ゲ兼ネマスガ、其時ノ調ニ一ツ參考トシテ考ヘテ見タイト、斯様ニ考ヘマス

○大本委員 小田町落合間モ非常ニ開通ヲ希望シテ居ルノデアリマス、是モ併セテ一ツ御調査ヲ御願シタイト思ヒマス、ソレカラ監督局長ニ御伺シタイトデスカ、鐵道並ニ電車軌道沿線ノ「バス」ハ、當該會社ニ大體御許可ニナル方針ニナッテ居ルノデアリマシテ、三四年前ニ三土鐵道大臣時代ニ、大臣ノ依命通牒ヲ發送シテ居ル管デアアルノデアリマス、今ニドウモソレガ徹底シテ居ラナイノデアリマスガ、鐵道省ノ御方針ハ御變リハナイモノト思ウテ居ルノデゴザイマスガ、如何デゴザイマセウカ

○前田政府委員 御示シノ通り原則ト致シマシテハ、地方鐵道、軌道ニ並行致シマシタ「バス」ノ競願ガアリマス場合ニハ、出來ル限り其地方鐵道、軌道會社ニ優先シテ免許スルト、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居リマス

○大本委員 所ガ既ニ鐵道大臣ノ依命通牒ガ出テ、早ヤ三四年ニモナリマスノニ、私ノ方ニ未ダニ解決セヌ線ガアルノデゴザイマス、モウ一應鐵道大臣ノ依命通牒ヲ出シ下サル御考ガゴザイマスマイカ

○前田政府委員 一寸御趣旨ガ諒解シ兼ネル點ガアルノデアリマスガ、監督局長ガ鐵道大臣ノ命ヲ受ケマシテ、通牒致シマシタノハ、府縣知事ニ通牒致シタノデアリマス、免許

ハ例外ハアリマスケレドモ、大體ニ於キマシテ府縣知事ガ意見ヲ具シテ、鐵道大臣ニ申達シテ參リマシテ、鐵道大臣ガ之ニ免許ノ許否ヲ決定シテ居ル、斯ウ云フ事情デアリマスノデ、鐵道大臣ノ決メマシタ方針ヲ、大體今日マデ實行シテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、無論只今ノ原則

イト、斯ウ云フ意味デゴザイマス

○前田政府委員 御質問ノ御趣旨ハ能ク了解致シマシタ、若シサウ云フヤウナコトガアリマスレバ、依命通牒ヲ繰返シマスカ、或ハサウ云フ経緯ノアル具體的ノ事實ニ對シマシテ、適當ナ方法ヲ執リマスカ、ドチラカ一ツ考ヘマス

○大本委員 中國、四國ノ連絡ニ付テハ、豫テ御調査中ダト承テ居リマスガ、ドノ程度マデ調査ガ出來テ居リマスカ、御伺シタイト思ヒマス

○前田政府委員 生憎擔當ノ政府委員ガ居リマセヌノデ、私カラ御返事ヲ申上ゲテ間違フトイケマセヌカラ、擔當ノ政府委員ノ出席ヲ待ツテ御答辯ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘマス

○大本委員 是ハ御係リハドチラデスカ

○前田政府委員 運輸局デス

○大本委員 ソレデハ建設局長ニ御伺ヒシマスルガ、百三號線ノ三瓶迂回問題ハ、ドウ云フヤウナ風ニナツテ居リマスカ

○河原政府委員 八幡濱、宇和島間ニ三瓶ト云フ漁港ガゴザイマシテ、此部落ニ近ク線路ヲ廻シテ呉レト云フ陳情ガ前カラアリマシタ、相當ナ部落デアリマスカラ、出來ルダケ廻シタイト存ジテ調査致シマシタ

○河原政府委員 本年申ニハ是非ヤリタイト思ッテ促進サシテ居リマス

○大本委員 ソレカラ阿波ノ池田ト伊豫ノ河之江間ノ豫定線デゴザイマスガ、是ハ四國ニ於ケル交通ノ最モ要所デアリマスルノミナラズ、地方ノ者モ著手ヲ翹望致シテ居ルノデゴザイマスガ、來年度ニ於テ御

○河原政府委員 河之江、池田間ニ付テハ、只今大本サンノ仰シヤッタ通り、四國ニ殘ッテ居リマス豫定線ノ中デハ、有望ナ線ト存ジテ居ルノデゴザイマス、唯御承知ノ通り、數年前カラ省營「バス」ヲ實施致シテ居リマスノデ、其成績ヲ見ヨウト云フコトト、ソレガラ全線ニ互ッテ比較線ガゴザイマスカラ、其調査ト其二ツノコトデ未ダニ著手シナイコトニナツテ居リマスノデ、本年モ亦比較測量ヲ十分ニヤル積リデ居リマスカラ、其結果ニ依リマシテ、成タケ早イ機會ニ豫算ヲ計上シタイト存ジテ居リマス

○大本委員 ソレカラ今一ツ、宇和島、宿毛間ノ百三號線ノ未著手ノ所ガアルノデアリマス、是ハ此間林委員カラノ質問ニ對シテモ、當局ハ成ベク早キヤリタイト云フ御意思ハ御洩ラシニナツタノデアリマスルガ、來年度ニ於テ測量ニ著手ヲサレル御意思ガアルカナイカ、今少シク具體的ニ承ルコトガ出來タラト思フノデアリマスガ……

○河原政府委員 此間ノ沿岸線ノ問題ハ、豫算分科會ナドニモ御質問ガアリマシタガ、其當時モ申上ゲテ置キマシタ通り、豫算ノ都合ガ付ク限り考慮シタイ積リデ居リ

ガ、今マデハ三瓶ニ廻シマスト、他ノ部落ヲ通ラナクナルヤウナ結果ニナルノデ、色研究シテ居リマシタガ、最近其他ノ部落モ三瓶モ兩方通ルヤウナ路線ガ出來サウダト云フ見込ヲ付ケマシテ、今折角調査測量中デゴザイマス、モウ近イ時期ニサウ云フ線ガ決定シヤシナイカト思ッテ居リマスガ、要スルニマダ調査中デゴザイマシテ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌガ、只今マデノ經過ハサウ云フコトニナツテ居リマス

○大本委員 サウスルト大體三瓶ニ迂回スル御方針ノ下ニ、御調査ニナツテ居ルト云フ成行ナノデゴザイマスカ

○河原政府委員 廻シタイト云フ積リデ調査致シテ居リマス

○大本委員 大洲、八幡濱間ノ夜晝、トンネルノ開通ガ、御案内ノ通り遅レテ居リマスガ、何時頃開通ノ見込デゴザイマスカ

○河原政府委員 本年申ニハ是非ヤリタイト思ッテ促進サシテ居リマス

○大本委員 ソレカラ阿波ノ池田ト伊豫ノ河之江間ノ豫定線デゴザイマスガ、是ハ四國ニ於ケル交通ノ最モ要所デアリマスルノミナラズ、地方ノ者モ著手ヲ翹望致シテ居ルノデゴザイマスガ、來年度ニ於テ御

○河原政府委員 河之江、池田間ニ付テハ、只今大本サンノ仰シヤッタ通り、四國ニ殘ッテ居リマス豫定線ノ中デハ、有望ナ線ト存ジテ居ルノデゴザイマス、唯御承知ノ通り、數年前カラ省營「バス」ヲ實施致シテ居リマスノデ、其成績ヲ見ヨウト云フコトト、ソレガラ全線ニ互ッテ比較線ガゴザイマスカラ、其調査ト其二ツノコトデ未ダニ著手シナイコトニナツテ居リマスノデ、本年モ亦比較測量ヲ十分ニヤル積リデ居リマスカラ、其結果ニ依リマシテ、成タケ早イ機會ニ豫算ヲ計上シタイト存ジテ居リマス

○大本委員 ソレカラ今一ツ、宇和島、宿毛間ノ百三號線ノ未著手ノ所ガアルノデアリマス、是ハ此間林委員カラノ質問ニ對シテモ、當局ハ成ベク早キヤリタイト云フ御意思ハ御洩ラシニナツタノデアリマスルガ、來年度ニ於テ測量ニ著手ヲサレル御意思ガアルカナイカ、今少シク具體的ニ承ルコトガ出來タラト思フノデアリマスガ……

○河原政府委員 此間ノ沿岸線ノ問題ハ、豫算分科會ナドニモ御質問ガアリマシタガ、其當時モ申上ゲテ置キマシタ通り、豫算ノ都合ガ付ク限り考慮シタイ積リデ居リ

○河原政府委員 河之江、池田間ニ付テハ、只今大本サンノ仰シヤッタ通り、四國ニ殘ッテ居リマス豫定線ノ中デハ、有望ナ線ト存ジテ居ルノデゴザイマス、唯御承知ノ通り、數年前カラ省營「バス」ヲ實施致シテ居リマスノデ、其成績ヲ見ヨウト云フコトト、ソレガラ全線ニ互ッテ比較線ガゴザイマスカラ、其調査ト其二ツノコトデ未ダニ著手シナイコトニナツテ居リマスノデ、本年モ亦比較測量ヲ十分ニヤル積リデ居リマスカラ、其結果ニ依リマシテ、成タケ早イ機會ニ豫算ヲ計上シタイト存ジテ居リマス

○大本委員 ソレカラ今一ツ、宇和島、宿毛間ノ百三號線ノ未著手ノ所ガアルノデアリマス、是ハ此間林委員カラノ質問ニ對シテモ、當局ハ成ベク早キヤリタイト云フ御意思ハ御洩ラシニナツタノデアリマスルガ、來年度ニ於テ測量ニ著手ヲサレル御意思ガアルカナイカ、今少シク具體的ニ承ルコトガ出來タラト思フノデアリマスガ……

○河原政府委員 此間ノ沿岸線ノ問題ハ、豫算分科會ナドニモ御質問ガアリマシタガ、其當時モ申上ゲテ置キマシタ通り、豫算ノ都合ガ付ク限り考慮シタイ積リデ居リ

マスノデ、測量ハ來年ト云フ御話デアリマシタケレドモ、多分來年度ト云フ意味ダラウト思ヒマスガ、此議會ガ濟ミ次第ニ調査測量ヲ始メタイト思ッテ居リマス、

○**大本委員** 今ノ「バス」ニ關聯シテ居ル問題デゴザイマスガ、只今ノ御答辯ニ依リマスルト、内子大洲、内子小田町間ノ竣工後ヤリタイ希望ガアルヤウナ御話デゴザイマスガ、此内子、大洲間ノ線ハ、現在鐵道ノ支線ガアルノデゴザイマス、サウシテ此地方ノ者ハ、此間ノ「バス」ノ出來ルコトモ宜イノデアルガ、其曉ニ大洲、内子間ノ支線ガ營業休止ニナルヤウナコトガアルト甚ダ困ル、斯ウ云フ心配ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ過日喜安次官ニ對シテ私カラ御尋シタ際ニハ、斷ジテ左様ナコトハナイ、假令大洲、内子間ニ省營「バス」ガ出來ルヤウナコトガアルデモ、鐵道ノ支線ノ營業ヲ休止スルヤウナコトハナイト云フ御話デアッタノデアリマスルガ、此點今一ツ政府委員ノ御所見ヲ伺ヒタイトデアリマス

○**前田政府委員** 先刻申上ゲマシタヤウニ、自動車ヲ内子、大洲間ヲ繋グト云フコトハ、運輸局ノ方デ出來レバサウ云フコトニシタイト、斯ウ云フ考ヲ以チマシテ調査ヲシタイト考ヘテ居ル程度ノコトデアリマ

ス、鐵道ガ今日内子附近ノ荒荷、主トシテ材木ト考ヘテ居リマスガ、サウ云ッタヤウナモノヲ運ブ使命ヲ持ッテ居ルコトハ、申ス迄モナイコトデアリマス、内子カラ大洲ナリ、或ハ長濱ニ至リマスル旅客、貨物ノ輸送ノ實施ト云フコトヲ考ヘ合セマシテ、慎重ニ考慮シタ結果、運送機關ノ整備ヲ期サナケレバナラヌコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、御示シノコトハ十分兩方ノ決定ニ當リマシテハ、慎重ニ致シタイト考ヘマス

○**大本委員** サウ致シマス、省營「バス」ガ開通致シマシテモ、此間ノ鐵道ノ支線ノ營業休止ニナルヤウナコトハ斷ジテナイト、斯ウ承知シテ居ッテ宜シウゴザイマスカ

○**前田政府委員** 大體サウ云フ風ニ御承知下スッテ差支ナイト思ヒマスガ、省營「バス」ヲ決定致シマス際ニ、其點ヲ考慮シテ省營「バス」モ決定シナケレバナラヌ、サウ云フ譯デアリマス

○**大本委員** 是ハ地方トシテハ餘程重要ナ問題デゴザイマスノデ、省營「バス」ヲヤッテ貰フノハ洵ニ有難イノデアリマスガ、其代リニ鐵道ノ營業休止ニナッタリシタノデハ困ルノデアリマスガ、此點ハ一ツハッキリ御

方針ヲ定メテ置イテ貰ウテ、兎ニ角鐵道ノ支線ノ營業ハ繼續シテヤルト云フ前提ノ下ニ、省營「バス」ヲヤッテ載カネバナラヌノデアリマス

○**清瀬委員長** 大本君、今ノ御話ハ生憎主管ノ政府委員ガオ居デニナラヌカラ、主管ノ政府委員ガオ出デニナル機會ガアルト思ヒマスカラ、後日ニ御確メニナッタラ如何デスカ

○**大本委員** サウ致シマシテモ宜シウゴザイマスガ、一ツ其點ハハッキリ御考置キヲ願ヒタイ、ソレカラ最後ニ御伺シマスルガ、愛媛縣ヘ鐵道出張所ヲ新設サレル御計畫ガアリマスカドウカ、御伺シタイト思ヒマス

○**山田政府委員** 愛媛縣ニ出張所設置ノコトデゴザイマスガ、マダ鐵道省ト致シマシテハ、具體的ニ何モ考ヘ決ッテ居リマセヌ

○**大本委員** ソレデハ私ハ是デ打切りマ

○**清瀬委員長** 御諮リ致シマス、大體敷設法ノ御質疑ハ終了シタト認メマスノデ、此案ノ贊否ヲ決シタイト思ヒマス

○**岡崎委員** 私ハ異議アリマセヌ、此間題ハ横濱ノ櫻木町ヨリ北鎌倉ニ至ル鐵道ノ

コトデアリマスガ、御承知ノ通り横濱ハ帝都ノ玄關デ、船ガ澤山參リマシテ、澤山ノ客ガアリ、其客ガ又北鎌倉方面ニ參ル者ガ多イ状態ニアリマスノデ、帝都ノ玄關ヲ整ヘルト云フ意味デ、ドウゾ能ク御完成ヲ御願シタイト思ヒマス

○**本田委員** 吾々ノ方モ本案ニ對シテ異議ハアリマセヌ、速ニ決定アランコトヲ希望致シマス

○**淺川委員** 一寸申遅レマシタガ、本委員會ニ付託ニ相成リマシタ鐵道敷設法中改正案デアリマシテ、其要旨ハ「別表第五十二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ」、「五十二ノ二神奈川縣櫻木町ヨリ北鎌倉ニ至ル鐵道」、之ニ對スル提案ノ理由竝ニ説明ヲ政府當局ヨリ詳細ニ承リマシタ、是ハ鐵道ノ系絡上、竝ニ大井町以南大船附近ニ至ル貨物竝ニ旅客ノ輻輳致シマスモノヲ、本線ノ建設ニ依ッテ緩和シ得ルト云フ、頗ル適當ナル改正案ト思ハレマス、本案ニ贊成ノ意ヲ表シマス

○**田子委員** 只今淺川委員ヨリ本改正法律案贊成ノ動議ヲ御提出ニナリマシタ、私モ政友會ヲ代表致シマシテ、此動議ニ贊成ヲ致シタイト思ヒマス、贊成ノ理由ハ、淺川君ノ御陳述ノ通り、他ノ昭和十二年度ヨリ建設セラルベキ八線共ニ全國的ニ、統一セ

ラレルト同時ニ、又本案ハ特異性ヲ持ッテ居ルモノデアリマスルカラ、私ハ今日豫算モ既ニ通過シテ居リマスルシ、妥當ナコト、シテ贊成ヲ致シマス、尙ホ委員會ノ空氣ヲ綜合致シマス、本案ハ現在ノ敷設法中ニ規定ナキ部分デアリマシテ、新ニ規定サレタモノデアリマス、然ルニ敷設法制定以來澤山ノ豫定線ガアリマスルニ拘ラズ、或時ハ豫算ガ計上セラレ、政府ノ財政ノ都合、公債發行ノ都合ニ依ッテ削除セラレタ場合モアリマス、又規定セラレタ儘デ、今日マデ之ニ著手セラレナイモノモアルノデアリマス、斯様ナ事情デアアルニ拘ラズ、特ニ此線ダケヲ追加スル理由如何ト云フノデ、各地方ノ實情ヲ述ベラレタ御質問ガ多クッチャウニ思フノデアリマス、私共ト致シマシテモ、政府ハ鐵道經濟ノ大體カラ申セバ、時代ノ要求ニ應ジマシテ、改良計畫ノ促進モ致サナケレバナラヌモノガ多クアルト思フノデアリマス、又從業員ノ待遇ハ、世間ノ思ウテ居ル程ノ待遇ガナイノミナラズ、極メテ菲薄ナルモノモアルカニ認メラレルノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ豫算ニモ相當ノモノガ要求サレナケレバナラヌト思ヒマスガ、是ト同時ニ建設方面ニ付キマシテハ、會テハ豫算ニ計上セラレテ、帝國議會

ハ之ニ協贊ヲ與ヘ、而モソレハ年度ヲ指定シテ居ルニ拘ラズ、財政ノ都合トハ申セ之ヲ削除シテ、其後何等顧ミナイト云フガ如キハ、甚ダ政府ハ國民ニ信ヲ失スルノミナラズ、吾々衆議院ニ居リマス者、議會ニ居リマス者トシテハ、同ジク責任ヲ分タナケレバナラヌト思フノデアリマス、隨ヒマシテ、斯様ナ會テ計上セラレタル如キハ、速ニ計畫ヲ立テラレンコトヲ希望致シマス、尙ホ豫算ニ計上セラレズトモ、地方ノ實情ニ即シテ急速ニ著手シナケレバナラヌモノガ多クアルト思フ、吾々ハ鐵道經濟ニ採算ヲ度外シロト云フコトハ申上ゲマセヌ、併ナガラ會テハ、五分利公債ノ當時ニ於キマシテハ、採算ニ困リマシタ線ト雖モ、三分五厘ノ公債ニ於キマシテハ、一分五厘ノ差ガアルノデアリマスルカラ、豫算上ニ於キマシテモ、採算上ニ於テモ必シモ不可能デハナイモノガ多クアラウト思フノデアリマスルカラ、政府ハ宜シク敷設法ノ再檢討ヲセラレルト同時ニ、必要ナルモノハ公債發行ノ増加ヲ求メラレマシテ、此建設計畫ヲ、法律案ニ規定セラレテ居リマス計畫ダケデモ、速ニ實行セラレンコトヲ希望致ス者デアリマス、以上ノ希望ヲ申述ベマシテ、淺川君ノ本案贊成ノ動議ニ贊成ヲ致シマス

○林委員 本改正案ハ適切且ツ緊急ヲ要スルモノト認メマスカラ、原案可決ノ動議ニ贊成致シマス

○清瀨委員長 採決致シマス、別ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○清瀨委員長 本案ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、次ニ——大臣ハ實ハ貴族院ノ方デ、持越鑛山ノコトニ付テ緊急質問ガアリマシテ、ソレニ出ナケレバナラナイノヲ、五合間バカリ繰合ハシテ、一寸説明ダケニオ出デ下サッノデアリマス、質問ノ方モアラウト思ヒマスガ、ソレハ後日ニ御廻シテ願ッテ、今日ハ説明ダケト云フコトニ御承知置キテ願ヒマス

〔承知シマシタト呼フ者アリ〕

○清瀨委員長 地方鐵道補助法中改正法律案ヲ議題ニ供シマス、當局者ノ提案理由ノ説明ヲ求メマス

○伍堂國務大臣 今回提案ニナリマシタ地方鐵道補助法中改正法律案ニ付キマシテハ、本會議デ大體申上ゲテ置キマシタガ、尙ホ一應御説明申上ゲタイト存ジマス、現行補助法ハ地方鐵道ノ普及發達ヲ目的トシ、營業開始ノ日ヨリ十年ヲ限リ、建設費ノ年五分ニ相當スル金額ヲ限度トスル補助金ヲ

交付スルモノデアリマスガ、昭和十二年一月一日以後ニ營業ヲ開始シタ地方鐵道ニハ、之ヲ適用スルコトガ出來ナイヤウニナッテ居リマス、所デ地方鐵道ノ新線營業開始ハ、近年極メテ僅少トナッタノデアリマス、右ハ自動車ガ著シク進出シタコトニ因ル交通狀勢ノ變化ヲ示スモノデアリマシテ、現行補助制度ハ最早變化シタ時勢ニ適合シナイヤウニナッタモノト認メラレル次第デアリマス、翻ッテ地方鐵道ノ營業成績ヲ見マスルニ、中ニハ優良ナルモノガアリマスケレドモ、過半數ハ收益率ガ四分ニ達シマセヌ、所ガ地方鐵道ハ概ネ國有鐵道ト密接ナ關係ヲ有シ、交通脈絡上重要ナ役割ヲ演ズルモノデアリマシテ、公益上其存續ヲ必要トスルモノデアリマスカラ、其運營ヲ保持シ、更ニ進ンデ施設ノ改善等ヲ行ハシムルコトニ依リ、獨立自營ノ域ニ達スルヤウヲ誘導シ、益々公益ヲ増進セシメナケレバナリマセヌ、隨テ現行補助制度ノ立前ヲ其儘据置キ、單ニ補助年限ヲ延長スルコトハ策ノ得タルモノト思ハレマセヌ、仍テ地方鐵道ノ運營ヲ保持シ、效用ヲ増進セシムルコトヲ目的トスル、新補助制度ヲ設ケヨウトスル次第デアリマス、新補助制度ハ、建設費ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヨリ、益金ヲ控

除シタ殘額ヲ限度トシ、運輸數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依ッテ計算シタ補助金ヲ交付シ、且ツ補助ノ目的達成ニ遺憾ナキコトヲ期スル爲メ、命令ヲ以テ補助金ノ使途ニ關スル規定ヲ設クルコト、致シテアリマス、尙ホ現行補助制度ニ對スル業者ノ期待ニ反シナイヤウニ經過規定ヲ設ケ、現行補助法附則第二項ニ掲グル地方鐵道以外ノ地方鐵道ニ對シテハ、申請ニ依リ、即チ從前ノ規定ニ依リ、補助ヲ爲スコトヲ妨ゲナイコト、致シマシタガ、金利基準ノ低下ニ鑑ミ、補助率ヲ一分ダケ低下スルコトニ致シマシタ次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上御賛成アラシコトヲ御願致シマス

○清瀬委員長 質疑ノ通告ガアリマスカラ、順次之ヲ許シマス、林路一君ガオ居デニナリマセヌカラ、堀内サン、事務的ナ御質問ヲ……

○堀内委員 先ヅドウ云フコトニ今度ナルノデアリマスカ、其點ヲ先キニ御伺シタイノデス、今マデ建設費ノ百分ノ五ニ達スルマデト云フモノガ、今度百分ノ四ト云フコトニナッテ居ルヤウデスガ、此百分ノ五ヲ四ニ減ラシタノハドウ云フ譯デスカ

○前田政府委員 從來ハ補助ノ基礎ガ、建設費ノ百分ノ五ト云フコトガ本位ニナッテ

居、タ譯デアリマス、所ガ段々低金利時代ニ向ッテ參ッテモ居リマスルシ、ソレカラ公債ノ利廻リモ段々下ッテ居リマスル時代デアリマス、御承知ノ如ク從來ハ百分ノ五ト云フコトニナッテ居リマシタコトモ、一ツノ原因トナッテ居ルト申上ゲテモ宜イト思ヒマスカ、地方鐵道カラ補助ノ申請ガアリマシテ、サウシテ鐵道省ニ於キマシテ、調査ノ結果尤ダト云フヤウナコトニナリマシテモ、財源ノ都合等デ全部補助スルコトガ出來ナカッタヤウナ状態デアリマス、此改正ノ際ニ、目下ノ低金利ト云フコトモ一ツ考慮ニ入レマシテ、四分ニ引下ゲルト云フコトヲ致シマスレバ、是デ必シモ満足トハ言ヘマセヌケレドモ、地方ノ鐵道ニ均霑ト申シマスカ、少シデモ行渡ルヤウニナリハシナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○堀内委員 百分ノ五ヲ百分ノ四ニ低下シマシテ、今マデ補助ノ恩典ニ浴シナイト云フ鐵道ガ隨分アルノデアリマスカ、ソレニ全部均霑サセル積リダト云フ御方針ハ、洵ニ結構ダト思ヒマスカ、サウナリマスト補助ノ金額ハ、ヤハリ七百五十萬圓ノ金額ハ減ラサズニ、ソレヲ維持シテ居ラレル御方針デアリマスカ、其點ヲ御伺致シマス

○前田政府委員 將來ノコトハ無論申上ゲ

兼ネル譯デアリマスカ、差當リ十二年度ハ、御承知ノ通り七百五十萬圓ト云フコトニ計上致シテアリマス、其後ノコトハ財政上ノ都合デアリマスルガ、特ニ此法律改正ニ依リマシテ、直チニ豫算金額ヲ引締メテ行カウ、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居ルモノデハナイ、斯ウ云フコトダケ御承知願ヒタイト思ヒマス

○堀内委員 今度ハ運輸數量ニ基イテ補助ヲ與ヘルト云フノデスガ、是ハドウ云フヤウナコトニナルノデスカ、一寸具體的ニ伺ヒタイト思ヒマス

○前田政府委員 御質問ノ要旨ハ、趣旨デナク、方法ノコトヲ御尋ニナッタモノト考ヘマスカ、法律案デハ、命令ノ定ムル所ニ依ッテ運輸數量ヲ基礎トシテ計算スル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスカ、命令ニハ大體次ニ申上ゲルヤウナコトヲ規定致シタイト考ヘテ居リマス、ソレハ地方鐵道ハ一籽ノ輸送量、旅客ノ一籽平均ノ乘車人員、貨物ノ一籽平均ノ輸送噸數ト云フモノガ、ソレノ違ッテ居リマス、非常ニ密ナ所カラ非常ニ粗ナ所マデ、各段階ガアル譯デアリマスカ、其段階ニ依リマシテ、ソレノ營業費ト云フモノ、單價ヲ清算致シテ見マスト、違ッテ居ル譯デアリマス、言換

ヘマスト、輸送量ノ粗ナ所ガ、比較的營業費ノ單價ガ高ク付ク、輸送量ノ密ナ所ハ、比較的單價ガ安ク付ク、斯ウ云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマスカ、其實情ニ鑑ミマシテ、其輸送數量ニ基キマシテ、觀念トシテハ所得稅式ト申シタラ宜イノカ、適當ナ表現方法ヲ思付キマセヌガ、一定數量ノ密度ト、或ル場合ニハ幾ラカ、其超過シタ以上ノ輸送數量ニ對シテハ、前ノヨリモ少シ低イ金額、又或ル限度マデ行ッテ、ソレ以上ハ更ニ低イ金額、斯ウ言ッタ風ニ所得稅式ノ考ヘ方ヲ致シテ居ルノデアリマスカ、或ハ此計算方法トシテハ、サウ云フ段階ヲ設ケナイデ、一本ノ斜線ニナルヤウナ公式ノ金額ヲ決メヤウカトモ考ヘテ居リマスカ、兎ニ角考ヘ方トシテハ、所得稅ノヤウナ考ヘ方デ參リマシテ、サウシテ總テノ同ジヤウナ所ノ鐵道ノ營業費ノ統計ヲ取りマシテ、其平均ノ營業費ト云フヤウナ意味ノモノヲ求メマシテ、サウシテソレニ私共ノ方デ査定ヲ加ヘテ、ソレノ段階ニ於ケル鐵道ノ公式營業費ト云フヤウナモノヲ算出致シマシテ、サウシテソレノ大體半分位ヲ計算致シマシテ補助金額ヲ算出シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、甚ダ複雑デ御分り惡イカモ知レマセヌガ……

○堀内委員 大變ムヅカシイノデスガ、今マデ實行サレテ居ルノモ、實ハ本當ハ能ク分ラナイノデアリマスガ、サウスルト今マデノヤリ方ト、今度ノ改正案デ違フ點ハ、ドウ云ウ所ガ違フノデアリマセウカ、ソレヲ伺ッタ早分リガスルカト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、今マデヨリモ、五分ト四分ト斯ウ云フノデアリマスカラ、一分少クナルコトハ分ッテ居リマスガ、サウスルト其一分ダケ補助ガ少クナルモノト見レバ宜イノデアリマスガ、今ノ方法ニ依ルノト、運輸貨物ノ數量等ニ依ルノト、結局結果ハドウ云フ風ニソレノ増減ガ出テ來ルノカ、其計算ノ方法ハ詳シク伺ッテモ何デスカラ、其結論ヲ伺フコトガ出來マセスカ、ドウ云フ風ニナッテ居リマスカ

○前田政府委員 今度ノ第一條ノ四分ヲ限度トスルト云フコトハ、是ハ計算ヲ致シマス際ノ最後ノ制限デアリマシテ、只今申シマシヤウナ方法ニ依リマシテ、運輸數量ヲ基礎トシテ計算シテ參リマシテ結果ガ、其建設費ノ四分ニ當リマスカドウカ、斯ウ云フ最後ノ「チェック」ヲスルダケデアリマス、隨テ金額ノ計算ハ、從來ノ建設費ノ五分ヲ先以テ出スト云フヤリ方トハ、全然別箇ノヤリ方ニナッテ居ル譯デアリマス、

ソレデ運輸數量ガ基礎ニナルト云フコトハ、畢竟從來ノ考ヘ方カラ參リマスルト、兎ニ角建設費ノ五分デアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、理窟上申セバ、建設費ノ多大ナルモノガ必シモ公益ガ大キイトモ言ヘナイ譯デアリマスガ、唯建設費ダケ澤山デアレバ補助金額モ多イ、斯ウ云フコトニナッテ居ッタ譯デアリマス、今回ノ計算方法ハ、運輸數量ガ殖エレバ段々補助金ガ殖エテ行ク、無論殖エマシタ部分ニ對スル補助金ノ算式ト云フモノハ、ソレハ漸次下ッテ參リマス譯デアリマスケレドモ、全體ノ金額トシテハ、輸送數量ガ増セバ補助金モ殖エル、隨テ從來屢、私共モ聞イテ居リマシタ所ノ非難——或ル程度ノ數量ガアレバ、ソレ以上ニ勉強シテ旅客貨物ヲ吸收シテモシナクテモ、結局補助金ヲ澤山出スト云フコト、同ジニナルト云フヤウナ非難ガ、之ニ依ッテ除カレルコトニナルノデハナイカ、勉強シテ旅客貨物ノ數ヲ殖セバ、結局補助金モ多クナル、無論頭ニ四分ト云フ制限ガアリマシテ、其處マデ行ケバ行止リニナル譯デアリマスガ、兎ニ角ソレマデハ勉強次第デ補助金モ相對的ニ殖エル、斯ウ云フヤウナコトニナルコトガ、私共ノ今度ノ計算方法ノ、實ハ一ツノ主要點デアアル譯デアリマス、例

ヘバ運賃ヲ從來ヨリモ低減シテ輸送量ノ増加ヲ圖ル、數年經テバ其運賃ノ低下ノ割合以上ニ輸送量ガ殖エテ、結局利益ニナル譯デアリマスガ、當分ハ中々思フヤウニ旅客ナリ貨物ナリノ數ガ殖エナイ、隨テ一割運賃ヲ低下シテ、一割輸送量ガ殖エナケレバ、結局差當リ損デアアル、斯様ナル場合ニ改正法案ノ方法ニ依リマス、其間ノ減收ガ立派ニ補助ニ依ッテ償ハレル、斯ウ云ッタヤウナ結果ニナルヤウデアリマス、一面旅客貨物ニ對スル「サービス」ナリ、運賃ノ低減ナリヲシテ、サウシテ交通機關トシテノ效用ヲ益々増進セシムルト云フヤウナ點ニ著目致シマシテ、今申上ゲマシタヤウナコトヲ案出致シマシタ次第デアリマス

○堀内委員 サウ致シマス今ノ御説明ニ依リマスレバ、運輸數量ガ多ケレバ補助金モ多クナルノダ、運輸數量ガ少クナレバ、補助金モ其割合ニ少イト云フノデスガ、結局百分ノ四ト云フ所ヲ抑ヘテ置クコトニナラウト思ヒマス、運輸數量ガ多ケレバ、ソレダケ利益ガ多イ譯デスガ、百分ノ四ニ達スルマデノ間ハ、運輸量ガ少クナルト、ソレニ與ヘル補助金モ少クナルヤウニ私共考ヘマス、運輸數量ガ少ナケレバ、ソレダケ損ガ多イノデアリマスカラ、補助金ヲ多ク與

ヘナケレバナラヌヤウナ理窟ニナルト思ヒマス、然ルニ運輸數量ガ多ケレバ、多イ方ニ補助金ガ多クナルト云フコトハ、少シ解釋ニ苦シムノデアリマス、只今仰シヤルヤウニ、今マデハ唯補助ヲ受ケテ、サウシテ補助ニバカリ依頼ヲシテ、自分ノ方ノ運輸數量ノ増加ヲ圖ラナイト云フ傾向ガアッタヤウデアリマス、併ナガラ又一方ニハ、ヤハリ補助ヲ頂戴シマスル方デハ、兎ニ角補助ハ期限ガアルノデアリマスカラ、期限内ニ補助ヲ貰ハナイヤウナ程度ニ達シヨウト云フコトデ、皆勉強シテ居ッタノデアリマス、ソレデモ色々ノ事情カラ、中々其程度ニ達シナクテ來テ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、根本ノ方法ノ立テ方ナドモ、今御話ノヤウニ、運輸數量ガ多ケレバ補助ガ多クナル、運輸數量ガ少ナケレバ補助ガ少クナルト云フコトニナリマス、四分ト云フマデハ——運輸數量ノ多イ場合ハ四分ニ達スルコトモアルカモ知レマセヌガ、少イ場合ニハ四分ニ達シナイ、斯様ニ考ヘマスガ、少クトモ四分マデハ幾ラ運輸數量ガ少クテモ補助ヲシテ戴ケルコトニナル譯デアリマス、其邊ガ一寸分リマセヌ

○前田政府委員 只今ノ御質問ハ一應御尤トモ考ヘマスガ、先刻私ガ申上ゲマシタノ

ハ、運輸數量ノ多イモノニ對シテ、段々殖
 エルニ從テ、補助金ノ絕對額トシテハ段々
 増シテ行ク譯デアマリシテ、ソレハ先刻モ
 申上ゲマシタヤウニ、所得稅式ノ觀念デ、
 段々單價ハ下テ參リマス譯デアリマス、運
 輸量ト同ジヤウナ割合デ殖エテハ參ラナイ
 ノデアリマス、隨テ其運輸數量ノ少イモノ
 ト多イモノトノ差ハ、運輸數量ノ分量ニ依
 テハ制限ハシテナイ、斯ウ云フコトニナッテ
 居ルノデアリマス、其理由ハ先刻申上ゲ
 マシタヤウニ、密度ノ計數ニ依ッテ、補助ノ
 單價ガ違フト云フ觀念ヲ採入レタ譯デアリ
 マス、隨テ一面カラ考ヘマスト、今御示シ
 ノヤウニ、運輸數量ノ多イモノハ、段々繁
 榮ニナッテ居ルノダカラ、補助ハ少クシテモ
 宜イ筈ダ、運輸數量ノ少イモノハ、收益モ
 少イノダカラ、サウ云フモノニ補助金ヲ澤
 山與ヘルベキ筈ダ、斯ウ云フヤウナ御意見
 モ出ル譯デアリマス、其點極メテ尤ダト思
 フノデアリマスガ、運輸數量ノ増加ト補助
 ノ單價トノ調節ト云フコトニ依リマシテ、
 今御示シノヤウナ缺點ハ非常ニ取レテ居
 ル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、隨
 テ此百分ノ四ト云フコトハ、最後ノ限度ヲ
 示スニ過ギナイノデアリマシテ、計算上其
 百分ノ四ニ達シマシタ場合ニハ、無論其計

算シマシタ金額マデシカ補助シナイ、斯ウ
 云フ立前ニナッテ居リマス、畢竟全體ノ地方
 鐵道ト致シマシテハ、個々ニ考ヘレバ、總
 テ補助金ノ額ハ從來ノ觀念ヨリモ減ル、斯
 ウ云フコトガ此改正法案ノ立前ノ一ツニ
 ナッテ居ル譯デアリマス、唯從來十年間補助
 ヲ貰ッテ參リマシタモノガ、此補助法ニ依
 リマスト資格ガナクナッタ、サウ云フ譯デア
 リマスノデ、其補助ノ資格ガ現行法ニ依ッテ
 ナクナリマシタ各鐵道ニ對シマシテハ、從
 來ヨリハ金額ハ下ルガ、成ベク多クノ鐵道
 ニ均霑スルヤウニ、若干低イ補助金ノ額デ
 イテ、地方鐵道ノ交通機關トシテノ使命ヲ
 自力更生的ニヤッテ行カレル際ニ、ソレニ差
 水ト云フヤウナ意味デ補助金ヲ交付スル、
 而モソレハ成ベク勉強シテ輸送數量ヲ殖ヤ
 ス、又地方鐵道ノ適當ナ路線ニアリマスモ
 ノデアリマスナラバ、努力次第デ或ル程度
 マデ殖エテ行クベキ性質ノモノダト思ヒマ
 ス、其自力更生ノ途ヲ此補助金ニ依ッテ一
 層促進スルコトガ出來ルヤウナ風ニ活用シ
 テ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマ
 ス

「後デ役所ヘ聞キニ行ケバ宜イ」僕モ
 三日位質問スルゾト呼フ者アリ」
 ○清瀨委員長 私語ヲ禁ジマス、暫ク我慢
 フ願ヒマス
 ○堀内委員 「地方鐵道ニ對シ建設費ノ百
 分ノ四ニ相當スル金額ヨリ益金ヲ控除シタ
 ル殘額以內」ト云フマデハ分リマス、殘額以
 內ヲ補助スルト云フコトニナレバ——補給
 スルト云フコトハ分ル、所ガ此「運輸數量ニ
 基キ命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトニ
 ナルト、ソレハ後デ伺ッテモ宜イガ、併シサ
 ウナリマス、結局補助會社ガ、自分ノ收
 益ト補助ト加ヘテ百分ノ四マデニ達スルト
 云フコトハ、一概ニ言ヘナイコトニナルト
 思ヒマス、百分ノ四以下ノ場合ガアル、サ
 ウナリマス、補助ハ今マデヨリ少クナッタ
 ノデスネ、百分ノ五マデ貫ヘタノガ、今度
 ハ一分減ッテ百分ノ四トナッタ、ソコデ今ノ
 内容ノヤウナ御話ニ依ルト、百分ノ四モ貫
 ヘル會社ト貫ヘナイ會社ガ出テ來ル、斯ウ
 云フコトニナルト、非常ニ工合ノ悪イモノニ
 ナルノデヤナイカト思ヒマスガ、併シ其邊
 ノコトハ、今此處デハ私ハ保留シテ置キマシ
 テ、皆サンノ御質問ヲ伺ッテ後デモ宜シウゴ
 ザイマスガ、暫ク其點ヲ保留シテ置キマス、
 ソコデ先ツ七百五十萬圓ハ、大體來年度一

年度ダケダト仰シヤルガ、大體ソレダケ御
 殖ヤシニナレバ、マダノ今マデ大分殘ッ
 テ居ッタ、補助ノ恩典ニ浴サナイ鐵道ガ隨分
 アッタノデアリマスガ、サウ云フモノニモ皆
 均霑シヨウトスレバ、金額ハ相當御支出ニ
 ナラナケレバナラヌノデアリマスガ、大體
 何デゴザイマセウカ、サウスルト此七百五
 十萬圓ヲ御支出ニナレバ、平均之ヲ今ノヤ
 ウナ實行方法ニシテ、四分ト四分ニ達シナ
 イト云フト、ソレヲ平均ニシマシタナラバ
 四分以下、ドノ位ノ程度ニ總平均ガ落著ク
 ノデアリマセウカ、ソレトモウ一ツハ、今
 殘ッテ居ッタ所ノ補助ヲ與ヘテモ宜イト云フ
 モノハ、ドノ程度マデ均霑サレマセウカ、
 其御見込ラ一ツ伺ヒタイ
 ○前田政府委員 私ノ方デ之ヲ極ク概算致
 シマシタノデ、來年度計算シマス場合ニ、
 必シモサウ云フ數字ガキツチリ出テ來ルト
 云フコトハ申上ゲ兼ネマスガ、一應推算ヲ
 致シマシタ所デハ、此改正法、即チ新シイ
 計算方法ト、ソレカラ是ニ書イテアリマス
 ル十年未滿ノ鐵道ニ對スル改正法、此二ツ
 ノモノヲ合セマシテ、補助ノ申請ガアリ、
 一應補助ノ理由ガアルト認メラレマスル鐵
 道ノ補助金ノ總額ヲ算出致シテ見マサル
 ト、八百六十萬圓餘リ、八百七十萬圓弱ニ

相成リマス、随ッテ今マデ申上ゲタ程度ノ調

ベニ依リマシテハ、全部ニ行渡ラナイ、金額
ヲ之ダケ下ゲマシテモ行渡ラナイ、大體斯
ウ云フコトニナル見當デゴザイマス、サウ
ナリマシタ場合ニ、一體建設費ニ對シテ幾
何ニナルカト云フコトハ、二分五厘カソコ
ヲノ平均ノ見當ニナルドラウト思ヒマス

○堀内委員 平均二分五厘ニナルト、四分
ノ補助ヲ貰フニハ、相當ノ營業收入モ舉ゲ
ナケレバナラヌガ、自分ノ方ノ會社ガ利益
ヲドノ程度マデ、何分マデ上ゲ得ル鐵道ガ
四分ニ達スル配當ト認メルカ、其位ノコト
ハ御意見ヲ承リタイ

○前田政府委員 四分カキリノ補助ヲ貰
フ鐵道ハ、結局所謂鐵道ハ、益金ダケノ關係
デ行キマスレバ、平均「ゼロ」ト云フコトハ
申スマデモナイ譯デアリマス、サウシテ運
輸數量ノ計算ニ於キマシテ、四分弱ニナル
ト云フコトハ、是ハ益金ノ計算、即チ運輸
數量ト、ソレカラ運賃、營業費ノ組合セデア
リマスノデ、ソレトノ業態ニ依ッテ違フ
コト、考ヘマス

○堀内委員 勿論ソレト違ヒマスルガ、
私ハ此補助法ヲ審議スルノニ、コ、ガ重
點ノヤウニ考ヘルノデゴザイマス、兎ニ角
五分ガ四分ニ減ッタト云フコトハ、先刻ノ御

説明ニ依ッテ、金利モ下ッタン、低金利時代

デモアリ、ソレカラ尙ホ他ニ均霑ヲシテ居
ラス會社モアルカラ、其範圍ヲ擴ゲテ、ソ
レヲ均霑スルノダト云フ、此二ツノ御趣意
ハ御同感デアリマス、併ナガラ五分ガ今度
ハ四分ニ下ッタ、其四分ノ補助ハ、收益ガ多
ケレバソコマデ達スルガ、收益ノ——詰リ運
輸數量ガ少ケレバ收益ガ少イト云フコトニ
ナリマス、サウスルト困難ヲシテ居ル鐵道
ハ補助ガ少イ、比較的運輸數量ガ多クテ、
利益ガアル鐵道ハ四分貰ヘルノダト云フ風
ニ考ヘルノデアリマス、サウシテ見マスル
ト云フト、吾々ハ實ハ、簡單ニ五分ガ四分ニ
下ッテ、方法ハ今ノ通りダト云フ積リデ考ヘ
テ居リマシタガ、ソコデ今ノ内容ノ惡イ鐵
道ハドノ位貰ヘルカ、大體善イ鐵道ハドノ
位貰ヘルノカト云フコトヲ伺ッテ見タイノ
デアリマス、ソレハ色々ナ方法ガアルト云
フコトニナルト、マルデ内容ノコトガチツト
モ分ラナイ、デアリマスルカラ、其點ハモ
ウ少シ何トカ、成程或ル方法デ勉強シテ、
幾ラノ利益ヲ舉ゲレバ、幾ラ位ノ補助ガ貰
ヘルノダト云フ標準ダケハ、分ッテナイトイ
ケナイト思ヒマス

○前田政府委員 ソレデハ一ツ計算例ヲ申
上ゲテ見タイト思ヒマス

○堀内委員 計算ハ大變難カシイヤウデス
ガ、結論ヲ伺ヒタイ

○前田政府委員 計算ノ例ノ結論ヲ申上ゲ
テ見ヨウカト思ヒマス、鐵道會社ノ名前ハ
無論差控ヘマスガ、運輸收入ガ一寸六萬圓
バカリアリマシテ、營業費ガ五萬圓バカリ
デ、隨テ益金ガ八千五百圓ト云フ鐵道デア
リマス、是ガ建設費ニ對シテ一分ト云フコ
トニナッテ居リマス、一分チヨット餘、一分
四毛デアリマス、ソレハ從前ノ第一條ノ規
定ニ依リマスルト、三萬二千圓バカリノ補
助ヲ受ケル形ニナルノデアリマス、ソレガ
改正法ノ計算ニ依リマスルト、二萬四千圓
バカリニ減ル、是ハ八千圓位ノ例ニナリマ
ス、ソレカラ此鐵道ガ、實ハ運賃ノ低下ヲ
ヤツタ、其結果二萬四千圓ニナッタンデアリ
マス、隨テ運輸數量ノ殖エナイ前ノ状態ヲ
取りマシテ、改正案ノ計算方法ヲヤツテ見
マスト云フト、一萬八千九百圓バカリニナ
リマス、ソレガ運賃ノ低下ヲ圖ッテ輸送數量
ヲ殖ヤシマシタ爲ニ、二萬四千圓バカリニ
増加シテ居ル、斯ウ云フ計算例ガ一ツアリ
マス、モウ一ツ、只今ノハ一分位ノ分數デゴ
ザイマスガ、今度ハ二分七厘ト云フ鐵道ノ
例ヲ申上ゲマスト、從前ノ第一條ノ規定ニ
依リマスト、十三萬三千圓ニナッテ居ルノデ

アリマスガ、新シイ方ノ計算デ參リマス
ト、四分ト云フ所ニ衝突致スノデアリマ
ス、七萬六千圓バカリ減ッテ居リマス、是ハ
四分ニ打突ッテ七萬六千圓ニ減ッテ居ルヤウ
ナ計算ノ一ツノ例デアリマス、隨テ此二分
五厘足ラズニ平均ガナルデナラウト云フコ
トヲ、只今申上ゲマシタ、率ノ減リマスコ
トハ、結局四分ニ近イ鐵道ガ澤山アッテ、隨
テソレ等ノ多數ノ鐵道ガ四分マデ貰ハナイ
カラ、平均ノ建設費ニ對スル補助金額ノ率
ヲ下ゲル、斯ウ云フ結果ニナッテ居ルノダ
ラウト考ヘマス

○堀内委員 計算ハ又後ニ伺ヒマス、サウ
スルト今迄マダ補助ノ年限中ニ、十箇年ノ
補助ヲ頂戴シナイモノガ何線カ殘ッテ居ル、
其鐵道ニ對スル方法ハ、ヤハリ此新法令ノ
適用ニ依リマセウカ、舊法令ノ適用ニ依リ
マセウカ

○前田政府委員 ソレハ改正法ノ附則ニ依
リマシテ、從前ノ第一條ノ百分ノ五デアリ
マス、金額ヲ百分ノ四ト訂正致シマシテ、
實質的ニハ舊法ノ規定ニ依リマシテ、滿了
前ナラ滿了ノ日迄補助シ得ルヤウナ方法ニ
ナッテ居リマス

ダケデ、從前ノ計算方法デ、前ノハオ出シニナルノデアリマスカ

○前田政府委員 其通りデアリマス

○堀内委員 今迄色々補助ヲ御決メニナル場合ニ、補助ヲ與ヘルベキ性質ノ豫定線ノ代行ヲシタトカ云フモノニ對シマシテ、一會社二十萬圓位ヲ大體標準トシテ、ソレ以上ハ與ヘナイト云フコトニナツテ居リマス、今度ノ改正法ニ依リマス、其率モ少クナルヤウデアリマスガ、サウ云フヤウナ御制限ハアリマセヌデセウカ、尙ホ他ニ例ヘバ、今迄ハ優良鐵道ハイケナイトカ云ツタヤウナ内規デモアルヤウナ御話デアリマシタガ、サウ云フ御取扱ハ從前ト餘程變リマセウカ、其點伺ヒタイ

○前田政府委員 最初ノ二十萬圓ト云フ制限ノコトデアリマスガ、是ハ或ル鐵道ニ非常ニ多額ノ金額ヲ補助スル爲ニ、澤山ノ鐵道ノ補助ガ行渡ラナイト云フコトヲ慮レマシタ結果、大體二十萬圓見當ガ、一鐵道會社ニ對スル補助ノ最高額トシテハ適當デアラウ、斯ウ云ツタヤウナ考方カラ、サウ云フ風ヲ制限、ト申シマシテハ何デアリマスガ、取扱ヲ致シテ參ッタノデアリマス、今度改正法ニ依ッテドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、改正法ニ依リマシテモ、非常ニ計

算上多額ノ補助金ニナル鐵道ガナイトハ言ヘナイノデアリマス、極メテ少ナカラウガ、アルヤウデアリマス、ソレ等ノモノニ對シマシテ、ドウ云フヤウニスベキカト云フコトヲ、特ニマダ決メテハ居ナイノデアリマスガ、大體ノ趣旨カラ申シマシテ、同ジヤウナ考方ヲシテ行クベキデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、無論二十萬圓ト云フ金額ニ、別段ノ大シタ執著モナイ譯デアリマスガ、同ジヤウナ考方ハ改正後ニ於キマシテモ當然必要デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ補助スル鐵道ノ範圍ト云ツタヤウナ意味ノ御尋ガアリマシタガ、ソレハ今度モ大體命令ニ依リマシテ規定致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、其命令ハマダ立案中デアリマシテ、的確ナルコトヲ申上ゲル程度マデ行ッテ居ラヌノデアリマシガ、大體ニ於キマシテ消極的ニハ、或ハ工

作時期ノモノデアリマシトカ、或ハ專用鐵道ノ性質ガ顯著ナモノデアリマシトカ、或ハ鐵道ノ益金ハ餘リナイノデアアルガ、副業等ノ益金ガ多額デアリマス爲ニ、或ル程度ノ相當ナ配當ヲ常ニヤツテ居ルモノトカ、斯ウ云ツタヤウナモノハ、此補助法ニ依リマス補助ヲ支給シナイ、積極的ニハ、或ハ國有鐵道ト直通連絡ヲヤツテ居ルトカ、或ハ

連帶運輸ヲヤツテ居ルトカ、其他産業上重要ナ位置ニアルヤウナ地方鐵道ニ限定シテ、ヤリタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○堀内委員 私ハ從來ノヤリ方ニ付テノ金ヲ、二十萬圓ニ制限スルト云フコトガ、少シドウモ御取扱ガ間違ッテ居ルノデヤナイカト思ヒマス、ナゼカト云ヒマス、資本金ニ多少ガアリマシテ、同ジ建設費デモ百萬圓ノモノモアレバ、二百萬圓掛ツタモノモアル、サウシテ其路線ガ補助ヲ與ヘルベキモノデアルト云フコトガ決定シタ以上ハ、ヤハリ建設費ヲ多ク使ッテ鐵道デアレバ、其全線ニ互ッテ大キナ建設費ニ相當スル補助ヲ與ヘルコトガ至當デアラウト思フ、唯金ヲ制限シテ、二十萬圓ヲ限度トシテヤルト云フコトニナリマス、小サナ鐵道ハソレデ大體満足スルデアリマセウガ、建設費ヲ多ク使ッテ長距離ノ鐵道ニナルト、非常ニソコガ困ルコトニナル、從來ノ中デハ餘計ヤリタイケレドモ、金ガ足りナイカラト云フヤウナコトモアツタヤウデ、金ガ足りナケレバ已ムヲ得ナイコト、思ヒマスガ、今回ハ方法ガ變ッテ、率モ下ルシ、内容ノ方法モ變ルノデアリマスルカラ、セメテ金額等ヲ制限セズニ、只今仰シヤルヤウナ理由ノアル鐵道ハ、モウ全線デモ、ドチラデモヤルト

云フ立前ニナサツタ方ガ、之ヲ適用スル上ニ於テ非常ニ公平デハナイカ、其點ヲモウ一度伺ヒマス

○前田政府委員 御説洵ニ御尤デアリマス、二十萬圓デ事實制限シテヤツテ居ルト云フコトハ、只今御示ノヤウナ議論ニ從ヘバ、御尤ダト思フノデアリマス、唯私共ガ心配致シテ居リマスル點ハ、一面ニ於テ成ベク多數ノ鐵道ニ、必要ナモノナラバ補助ヲ均需サセル、斯ウ云フ御議論モアルノデアリマシテ、ソレモ極メテ御尤ナコトデアルト思フノデアリマス、此二ツノ何レモ御尤ナ御議論ノ調和ヲ圖ッテ參ル——ト云フト大キ過ギルカモ知レマセヌガ、ドノ程度ノ所デ兩方ノ御尤ナ御意見ニ適應シテ參ルカト云フ、斯ウ云フ問題グラウト思フノデアリマス、今回モヤハリ先刻數字ヲ申上ゲマシタヤウニ、金額ハ減リマシテモ、私共ガ差當リ考ヘ得ルヤウナ鐵道全部ニ對シテ、現在ノ豫算デハ行渡ラナイ、斯ウ云フヤウナ状態デアアルノデアリマス、御趣旨ハ極メテ御尤デアリマス、其點ハ能ク實際ノ行政處分ヲシマス時ニ考慮致シマシテ、只今申上ゲマシタ二ツノ議論ノ適當ナ調和ヲ圖ッテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

云フ立前ニナサツタ方ガ、之ヲ適用スル上ニ於テ非常ニ公平デハナイカ、其點ヲモウ一度伺ヒマス

○堀内委員

モウ一ツデ私止シマス、實ハ私設鐵道ノ現狀ニ付キマシテハ、監督局長能ク御承知ノ次第デアリマシテ、非常ニ私設鐵道ト云フモノハ難局ニ立ッテ居リマス、今回此補助年限延長ノ爲メ御規則ヲ御改正ニナリマシテモ、尙ホ遺憾ニ思フ點ハ、是

デハ到底救ヒ得ナイト思フノデアリマス、救ヒ得ナイト思ヒマスルガ、或ハ已ムヲ得ナイコトカモ知レマセヌガ、私ハ少シ此問題ト一寸離レルヤウデアリマスガ、昨年ノ議會ニ於キマシテモ、色々申上ゲタコトガアル

ノデアリマスガ、此私設鐵道ヲ救フ途トシテ、此補助ノ外ニ營業ノ點ニ於テノ運賃ノ通算ヲスル、例ヘバ特小ノ取扱ノヤウナ方法ヲシテ、サウシテ短距離ノ私設鐵道ガ、遠距離ノ鐵道トシテノ方法ノ恩澤ニ浴スルコトガ出來ル、只今デハ貨物乗客ダケハ運賃

輸送ヲシテ居リマスガ、運賃ハ通算ニナリマセヌカラ非常ニ高イ、サウシテ全國ヲ平均スル所ノ、十五哩ト云フヤウナ短距離ノ鐵道ニナッテ居リマスカラ、運賃ガ割合ニ高ク付ク、サウシテ自動車ナドニ皆負ケテシ

マフ、デアリマスカラ之ヲ省線ト通算スルコトニシテ、ソシテ丁度特小ノ扱ノヤウナ方法ヲ執ッたら、相當私設鐵道ノ生キル途ガアラウト云フコトヲ申上ゲタコトガアルノ

デアリマスガ、鐵道省ト致シマシテ、私設鐵道擁護ノ御立場カラ、サウ云フヤウナ御考

ハナイノデアリマセウカ、又一面其方法ヲ改正シテ私設鐵道ヲ救フト云フヤウナ、何か御意見ガアリマセウカ、其點ヲ伺ヒマ

ス ○前田政府委員 昨年堀内サンノ御質問ニナリマシタ運賃通算ト云フコトハ、極メテ御尤ナ御意見デアルト考ヘマスルノデ、其後調査ヲ致シテ居リマス、唯此運賃通算問題ヲ決定致シマスコトハ、單ニ通算ノ運賃

ヲ計算スルト云フコトダケナラバ、比較的單純カトモ考ヘルノデアリマスガ、此運賃ノ通算ト云フコトヲ下手ニ計畫致シマスレバ、地方鐵道ノ運賃ノ非常ニ低下ニナリマ

ス、是ハモウ申上ゲル迄モナク御承知ノコトデアアル譯デアリマスガ、ソレデハ地方鐵道ガ當然立行カナクナル程度マデ運賃ガ下

ガルヤウナコトニナルコトモ、最悪ノ場合ハ豫想セラレル譯デアリマス、御趣旨ハサウ云フコトヲ防ギツ、適當ナ方法デ通算運賃ヲ決メナケレバナラス、斯ウ云フコトデアラウト考ヘルノデアリマスガ、其邊ガ非常ニ運賃通算ノ問題ノ解決ノ難點デア

リマスガ、今日ドウ云フヤウナ經過ヲ辿リ、或ハドウ云フヤウナ程度マデ行ッテ居ルカ

ト云フコトヲ申上ゲルコトハ、出來兼ネル次第デアリマスノデ、御諒承ヲ願ヒマス ○堀内委員 此問題ハ昨年大臣ニ申上ゲマシタ時ニ、一應御尤ダカラ一ツ考慮シヨウ

ト云フコトデアリマシタカラ、伺ッタノデアリマスガ、今後只今局長ノ御話ニナリマシタ運賃ガ非常ニ低減スルデアラウト云フコ

トハ、ソコガ私方屢、申上ゲル話ト一致シナイノデアリマスガ、私ハ成程按分比例ニ致シテ、遠距離通算ニシタナラバ、是ハ非常ニ只ミタイニナッテシマフデアラウ、ケレド

モ特小ノヤウニ運賃ノ配當ノ率ヲ等差ヲ付ケテ、短距離ハ割合ヲ良クスルト云フヤウナ、今特小ヲ扱ッテ居ルヤウナ方法ヲ、其儘

用ヒルト云フ譯デアリマセヌガ、尙ホアノ方法ヲ基礎トシテ研究ヲシテ、サウシテ距離ノ短イモノヲ率ヲ高クスル、其配當率ニ於テ等差ヲ付ケテ置クト云フコトニナレバ、運賃ガ決シテサウ下ガル譯デハナイ、相當下ガリハシマセウガ、其代リ貨物デモ、乗客デモ數量ガ殖エテ來ル、デスカラ其結果ハ運賃ハ下ガッテモ取返シガ出來ル、例

スカラ、結局社會大衆ニモ利便ヲ與ヘルコトニナリ、又私設鐵道モ救ハレルコトニナ

ル、デスカラ唯等差ヲ設ケズニ、按分比例ニスルコトニシマスナラバ、ソレハ十五哩ヤ二十哩ノ短距離鐵道ハ、何百哩モ先ノ計算ニ入ラレテ困ルコトニナル、故ニソコ

ニ特ニ等差ヲ設ケテ方法ヲ緩和サレタラドウカ、斯ウ云フ考デアッタノデアリマス、其點ハ別ニ御返事ヲ伺ハナクテモ結構デアリマスガ、私ハ此程度デ一先ヅ打切りマシ

テ、又皆サンノアトデ申上ゲタイト思ヒマスカラ、保留ヲシタイト思ヒマス ○清瀬委員長 一寸申シマスガ、只今堀内君ノ御尋ニナツタコトハ、極メテ適切ナコト

デアルト思フノデアリマスガ、今マデノ補助ト率ヲ異ニスルトカ、金額ヲ異ニスルトカ云フノデナクテ、補助ノ方法ヲ根柢カラ變

ヘテ來ル、非常ニ複雑多岐ニスルト云フヤウナ點デアリマスカラ、是ハ餘程重大ナ點ト思フノデアリマス、所ガ今ノ問答ヲ承ッテ居ルノニ、モウ少シ詳シイ、吾々ノ納得ノ行クヤウナ説明ヲ、或ル機會ニ御伺シナケレバイケナイノヂヤナイカト思ヒマスガ、ソレニ付キマシテ、命令ニ委セル事項ガ可ナリ、是ハ元カラ多イノデアリマスガ、只今承ルト、マダ命令ノ案ガ出來テ居ナイト云フ

コトデアルガ、命今ノ案ハ出來テ居ナクテモ、當局者ニハ定メテ腹案ハオアリガラウト思フガ、其腹案ヲ詳シク一ツ承リタイト思フ、ソレヲ參考書類トシテ一ツ出シテ戴キタイ、モウ一ツハ地方鐵道ノ利益率ニ付テ、鐵道省ニ於テ御調ニナツテ居ルモノガアレバ、四分以上ノ配當ナリ利益率ヲ舉ゲテ居ル鐵道會社、三分以上、二分以上、一分以上、一分以下ト云フヤウニ御分ケニナツテ、地方鐵道ノ利益率ガドウ云フ状態ニアルカト云フコトノ御調ガ出來ルナラバ、一ツ參考書類トシテ戴キタイト思ヒマス、其外ニ委員諸君ノ中カラ、參考書類ヲ御要求ナサル方ハゴザイマセヌカ

○林委員 現行法デ補助ヲ致シテ居リマス各會社ノ補助年限ノ終了スル時ガ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカ分リマスレバ、ソレヲ一ツ提出願ヒマス

○岡崎委員 補助金ノ高ガ、例ヘバ五萬圓ノ會社ガ幾ツ、十萬圓ノ會社ガ幾ツト云フヤウニ、若シ今マデ一三年間ノモノガ御分リデシタナラバ、示シテ貰ヒタイト思ヒマス

○清瀬委員長 ソレデハ本日ハ此程度デ散會致シマス

午後零時三分散會